

上演

7

ドラマ スクープ
速報! Drama Scoop

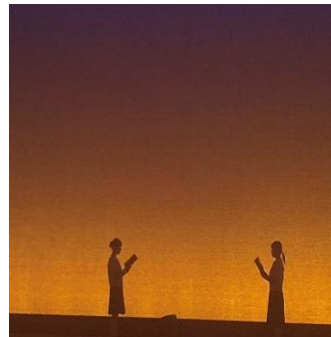


ヒミツノキチ

秋田県立秋田南高等学校

楽屋インタビュー

1. 本番を終えて、どんな気分ですか？
晴々とした達成感があります。イエーイ!!
本当にあっという間でした。とても楽しかったです!
2. 本番中のハプニング
照明が思いきりずれたことです。笑
(ウケて良かったです)
3. 思い出に残った台詞
「抗いたんです」
4. 大会期間中、部活内で流行ったワードとか行為とか
KONAMI ポーズ (上演前パンフのみんなのポーズです)
5. 見てくれたお客さんに向けて
笑ってくれてありがとう。自分の夢を追い続けてくださいな。



お客さんインタビュー

- 王道の高校生の青春ストーリーに伏線が散りばめられており、細かい演技や小道具を用いてそれらの意図を表面化していたため、理解しやすかった。
- 前半は「よくあるストーリーだなあ」と純度高く感じていたが、終盤に進むにつれて意外な結末や感動的な演出が用いられ、完璧な最後をかたどっていた。



運営委員が観た!
この劇の感想

●ネタの種類が豊富で、熊などの時事ネタ、「君の名は」などの懐かしいネタ、照明のズレなどの演劇部あるあるのネタなど、全く飽きを感じませんでした。一方、将来への葛藤など、青年特有の悩みに深く共感させられ、非常に完成度の高い演劇でした。特にラストのタイムカプセルのシーンは忘れられません! 担当: 渡辺(二華)

●黒桃太郎のお供の犬と猿がぬいぐるみなど、全体的にコメディ調で分かりやすく面白かったです。部室にあった台本を2人で演じるシーンでは、スポットライトが意図的にずらされており、揃って横移動する様はユーモラスたっぷりでツボりました。りおなとここなの関係性が徐々に明らかになっていく部分に引き込まれました。 担当: 須藤(泉松陵)